

## スタートアップ部門 まちづくり活動計画書

## 1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	桃山学区防災ミーティング
まちづくり 活 動 名	地域の連携協力による防災力強化と助け合いの環境づくり
活 動 地 域	名古屋市緑区桃山学区全域
活 動 の 背 景	<p>私たちが住む地域に南海トラフ大地震等が来たとき、災害への備えが十分でないことや、居住者の高齢化等により地域を守る共助の防災活動ができない心配があります。</p> <p>そこで、「桃山学区防災ミーティング」という地域をつなぐ「連携の輪」を作り、参加組織の協力による態勢づくり、町内会活動を中心とした共助の防災活動の底上げ、防災力の強化、助け合いの仕組みづくりを進め地域の安全度を高めて行くことにしたものです。</p>
目的・目標	<p>■目的 南海トラフ大地震等の災害への備え、高齢化による地域の活動力低下を踏まえ、地域の防災力を強化し、助け合いの仕組みを整備して地域の安全度を高める。</p> <p>■目標 ①地域防災の仕組みをつくる ②地域防災計画・防災マニュアルをつくる ③防災訓練を継続実施して防災態勢の確実性を高める ④地域の助け合いの仕組みをつくる</p> <p>■成果 「安全」「助け合い」が実感できる地域の誕生 災害時に機能する実践的な防災の仕組みづくり</p>
活 動 内 容	<p>1. 桃山学区内の関係団体（23団体）が参加する話し合いの場（全体ミーティング）を定期開催（年4回）して地域（19町内会）及び住人の意見を反映した防災活動の方針作りを進めます。</p> <p>2. 防災活動の方針作りに際しては、地域ごとの心配事や事情等を把握するために個別相談（個別ミーティング）を繰り返し行い、地域の実態に即した内容にしていきます。</p> <p>3. 全体及び個別ミーティングの積み重ねの中で、地域全体の方向性と地域ごとの防災ニーズの整合を図りつつ、防災計画・防災マニュアル作りの準備をします。</p> <p>4. 防災計画等・防災マニュアルを具体化する活動として、防災訓練を毎年実施し、随時計画の修正等も行い、実際に機能する防災態勢づくりを進めます。</p> <p>5. 令和元年の防災訓練では、発災後の初期活動として「住民相互による安否確認（訓練）」を行い助け合いの仕組みづくりの意義を感じる内容にします。</p> <p>6. 計画に基づく内容を着実に進めるための広報啓発活動及び毎年の役員交代に伴うリスク軽減にも取り組みます。</p>

助成金交付 申請額	5万円
--------------	-----

## 2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

<b>審査基準① 必要性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根ざしたまちづくり活動内容か</li> <li>・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か</li> <li>・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か</li> <li>・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か</li> </ul>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. この活動は学区内の関係団体（23 団体）が参加する全体ミーティング及び地域（19 町内会）単位の個別ミーティングで個別の心配事や事情把握をしており地域の実態に即した活動です。</li> <li>2. 防災活動（訓練）で行う「住民相互による安否確認（訓練）」は地域内の助け合いの仕組みを増進させる内容であり、更に助け合いの環境づくりを成長させることに繋がるものです。</li> <li>3. 現在の活動が定着し地域全体が防災活動の意義を感じ、重要だと考える様になれば参加団体からの負担金等による運営も期待できますが、スタート間もない段階であるため、活動に必要な資金を補うために助成金に期待せざるを得ません。</li> <li>4. 南海トラフ大地震に備える活動、地域の高齢化を意識した活動、助け合いによる地域づくりに資する活動であり、地域内の理解は得られています。</li> </ol>
<b>審査基準② 実現性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容が具体的になっているか</li> <li>・活動内容の資金計画などは妥当か</li> <li>・人員や規模などは妥当か</li> </ul>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. これまでに学区内の関係団体（23 団体）が参加する全体ミーティングを 3 回、個別ミーティングを一巡行って、組織の活動方針作りに活かしています。今後のミーティング開催、防災訓練の実施等個々の活動についても年度計画、活動スケジュールの中で進めています。</li> <li>2. これまでは準備的な活動が中心であったため多くの費用は必要なく、会員の負担で資料作りなどをしてきましたが、今後活動を展開及び維持するには、活動資金の確保が大事になるので、将来的には、活動の成長に合わせて各町内会に費用の負担をお願いすることにしています。</li> <li>3. 今のところ、参加団体は 23 団体 26 名ですが、地域内に呼びかけて参加者を増やし、活動の輪を広げて行く予定です。地域の高齢化による活動力の低下対策としても若手の参加が不可欠なので団体数及び構成人員数の増加に取り組んでいます。</li> </ol>
<b>審査基準③ 発展性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか</li> <li>・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか</li> </ul>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 桃山学区防災ミーティングとしての当面の活動は 3 年程度としており、その後は関係団体の他に行政、学校、医師、企業等も参加する「防災組織」を整備し、組織力、人材力、資金力を有する活動に育てて行きたいと思えます。</li> <li>2. 「助け合いによる防災活動」は地域内の他の活動（防犯、環境、見守り、養育等）に影響を与えることが期待できるので地域全体の助け合い環境づくりに貢献できるものと考えています。</li> </ol>

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
1. 緑消防署徳重出張所	防災訓練の指導、講習会等において説明をお願いしています。(6月2日)
2. 緑区役所	防災研修会で使用する画像データ等を提供していただいています。(6月2日)

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

## まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1 ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2019	4 / 5 日	全体ミーティング 年度 1 回目	新年度の活動計画、日程、防災訓練計画の方向づけ
	5	個別ミーティング	6 月の防災訓練の具体的な進め方について全町内会と個別に打ち合わせ * 名古屋都市センター・活動助成申請書の提出
	6	防災訓練の実施（2 日）	6 月 2 日 桃山学区・防災訓練。
		全体ミーティング 年度 2 回目	6 月 7 日 防災訓練の反省会
	7	防災訓練の総括	防災訓練の結果を元に今後の進め方を世話人の間で打ち合わせ
	8	避難所開設訓練参加	避難所開設訓練に研修生として参加
	9	個別ミーティング	個別の防災計画、防災マニュアル作りの準備段階の話し合い（全 19 町内会・1 回目）
	1 0	全体ミーティング 年度 3 回目	研修会の実施
	1 1	個別ミーティング	個別の防災計画、防災マニュアル作りの具体化に向けた話し合い（全 19 町内会・2 回目）
1 2	個別ミーティング	上記に同じ	
2020	1	個別ミーティング	個別防災計画、防災マニュアル作りをまとめるための話し合い（全 19 町内）
	2	全体ミーティング 年度 4 回目	今年度実施事項の総括及び次年度への引継ぎ事項を整理（役員等交代に備える）  * 名古屋都市センター・活動実績報告書の提出
	3	個別ミーティング	町内会役員交代の際の引継ぎ支援等

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

## まちづくり活動の予算書

1 支出

	費 目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金 額 (円)
<b>まちづくり活動助成金 (申請金額)</b> ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1 回目は 5 万円、2 回目、3 回目は 10 万円				50,000円
活動経費の内訳	消耗品費	事務用品	12 色マジックセット、A3 用紙 A4 クリップボード、両面テープ、	5,000-
	物品費	防災マニュアル 保存ファイル	防災マニュアル作成 (750×20 冊) プラスチック A4 ファイル、 台紙 (A4 カラー厚紙)、地図など	15,000-
	以下同じ	防災活動用品	町内会リーダー用ビブス (2,000×20 枚) 円	40,000-
		防災本部初動用品	初期活動用品 1 セット プラボックス、ホルダーファイル ヘッドランプ、警笛	5,000-
		広報誌等作成用品	裁断機 1 個 穴あけパンチ 30 穴 1 個	7,000- 3,000-
		広報用パネル	ポスター等掲示用のプラパネル A1 サイズ 10 枚	10,000-
<b>支出合計</b>				<b>85,000-</b>

※ 1 ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。